

第 11 回もくもくランド 2015

高知県木造住宅フェア「もくもくランド」が 10 月 24・25 日に高知市中央公園で開催されました。



テーマ：木育で広がる木(気)づかいの輪

主催：高知県木材普及推進協会・高知県

来場者数：約 2 万人(2 日間合計)

出展企業数：41 ブース

晴天に恵まれ、土・日の 2 日とも大盛況となりました。



恒例の丸太カットで開会式

木とふれあえる体験コーナー



情報発信



森林技術センター



高知県



四国森林管理局

木材協会も合法木材の普及を目的とした
ブースを出展しました。



キャラクター



林業機械の展示・起震車・パトカー白バイ体験



ステージイベント



アーケード内展示



森の検定



中村高等技術学校 櫓の建て方実演



ミニライブ



ジャーバーボンズ

ウェイノー

第 50 回全国木材産業振興大会

全国木材産業振興大会が三重県で開催されました。



平成 27 年 10 月 28 日
三重県総合文化センター

本年度の高知県関係受賞者
前大会以降退任団体長表彰
北岡 浩 様
林野庁長官感謝状
溝渕 浩一 様
全木連会長表彰状
笹岡 輝久 様
全木協連会長表彰状
山本 和夫 様

おめでとうございます。



平成 27 年度版 写真で見る「木」の施設

木材利用優良施設コンクールに本県の優良施設対象として「健康カフェとりごえ」（保健・保養等施設）を推薦しておりましたところ、「写真で見る「木」の施設」（事例集）（木材利用推進中央協議会編集・発行）に掲載されました。）

右ページに出版物発刊のおしらせがあります。



出版物発刊のお知らせ

木造事例集の第30冊目として125の木造事例を収録いたしました。お早めにお申し込みください。

〈平成27年度版〉

写真で見る「木」の施設(冊子)

木造事例集 その30

A4判 80頁 125事例 カラー写真70頁
発行予定 平成27年10月21日

申込先 木材利用推進中央協議会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3(永田町ビル6階)
TEL.03(3580)0335 FAX.03(3580)3226

刊行にあたって 木材利用推進中央協議会会長 吉 条 良 明

木材利用推進中央協議会で発行している「写真で見る「木」の施設」(事例集)も版を重ね、今回「その30」を紹介することとなりました。

この事例集は、都道府県木材利用推進協議会等を通じて募集しました「平成27年度木材利用優良施設コンクール」に全国の皆様方からお寄せいただいた作品・事例で、学校・体育等施設、交流・集会施設、地域産物販売施設、保育・幼稚園等施設、保健・保養施設、庁舎・事務所施設などの木造施設・内装材利用等125例を掲載しています。いずれの作品・事例も木材・地域材を使用した施設・街づくりにより意欲的に取り組まれています。これらの施設は、暮らし、学びなどに潤いのある空間を形成し、地域の活性化や資源の循環利用、環境保全に大いに役立っています。

平成22年10月の公共建築物等木材利用促進法制度の施行を契機に建築物、街づくりなどへの木材利用の関心が高まり、様々な利用推進活動が展開されています。この事例集はコンパクト版冊子です。推進活動、建築企画等にこの事例集をご活用いただければ幸いです。事例集掲載の施主さんや設計者等の熱意が伝わり、各地で木材の利用が大きく進展することを願います。

平成27年度木材利用優良施設表彰施設

1. 農林水産大臣賞受賞施設
静岡県 静岡市 静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」
2. 林野庁長官賞受賞施設
岩手県 住田町 住田町役場
山形県 南陽市 南陽市文化会館
岐阜県 岐阜市 みんなの森 ぎふメディアコスモス
3. 木材利用推進中央協議会会長賞受賞施設
東京都 江東区 江東区立有明小・中学校
山梨県 韮崎市 韮崎市立すずらん保育園
愛知県 岡崎市 地域福祉センター
愛媛県 鬼北町 鬼北町役場本庁舎別館
宮崎県 綾町 綾中学校校舎

平成27年度木材利用優良施設コンクール応募施設

■学校等施設(14施設)

北海道	下川町	下川町立下川中学校
北海道	ひかわ町	鶴川放課後子どもセンター
北海道	鹿沼市	鹿沼市立栗野小学校
埼玉県	熊谷市	埼玉県農業大学校
埼玉県	大井町	大井町立湘光中学校
神奈川県	横浜市	めーぶるキッズ
神奈川県	横浜市	横浜商科大学高等学校 学習棟
静岡県	静岡市	静岡県立大学小丸キャンパス看護学部棟
静岡県	長門市	長門市立油谷小学校
徳島県	三好市	三好市立西井川小学校
愛媛県	九尾市	九尾市立城西小学校
愛媛県	大洲市	大洲市立新谷小学校
愛媛県	新居浜市	多喜浜小学校塩の学習館
熊本県	和水町	和水町立三加和小学校



住田町役場(岩手県)

宮城県	柴田町	船迫子どもセンター
宮城県	会津坂下町	会津坂下町立坂下東幼稚園
宮城県	宇都宮市	認定こども園 陽の丘幼稚園
宮城県	富津市	明澄幼稚園
神奈川県	相模原市	相模原市立谷口保育園
神奈川県	横浜市	森が丘幼稚園 西棟
神奈川県	相模原市	相模原市立大沢保育園
富山県	入善町	入善町立さわさ保育園
富山県	立山町	立山町立かがやき保育園
山梨県	新元町	社会福祉法人おひさま ポップの家
岐阜県	御嵩町	伏見にこにこ館
愛知県	豊田町	豊田市立寿恵野こども園
愛知県	田原市	田原市立福場保育園
三重県	津市	さくら保育園
三重県	志摩市	しまの杜こどもセンター
京都府	福知山市	社会福祉法人丹陽福祉会 みどり保育園
京都府	八幡市	八幡市子ども子育て支援センターすくすくの杜
和歌山県	湯浅町	湯浅町立田保所
徳島県	江津市	江津市立さくら保育園
徳島県	阿波市	一条地区立保連携施設
宮崎県	つるぎ町	つるぎ町立半田幼稚園
宮崎県	宮崎市	社会福祉法人くすのき福祉会 おひさま保育園



静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」(静岡県)

■多目的交流施設(23施設)

北海道	函館市	HaKaDaKeHall
北海道	長万部町	長万部町多目的活動センター「あつまんべ」
北海道	知内町	矢越山荘
北海道	東川町	森林体験研修センター
北海道	美瑛町	美瑛町地域人材育成研修交流センター
北海道	当麻町	とうま山パークゴルフ場クラブハウス
北海道	釧路市	金山地区福祉交流センター
北海道	足寄町	大嘗地集落センター
宮城県	仙台市	仙台市泉岳自然ふれあい館
宮城県	鹿角市	鹿角市文化の杜交流館
秋田県	美郷町	美郷町宿泊交流館ワックス
福島県	平田村	三湯郷コミュニティセンター 緑正館
福島県	南会津町	針生しほりの家
愛知県	蟹江町	蟹江町希望の丘広場
三重県	紀宝町	深田スポーツ交流センター
三重県	西脇市	西脇市日本のへそ時計の丘公園交流施設
兵庫県	福崎町	さるびあドーム
兵庫県	福山市	福山市西公民館
熊本県	人吉町	森林管理センター
熊本県	熊本市	熊本市市町村自治会館別館
熊本県	菊池市	菊池市酒々公民館
熊本県	大津町	耕志堂
熊本県	御船町	御船街なかギャラリー

■保育園等施設(25施設)

北海道	上士幌町	上士幌町認定こども園
北海道	中標津町	中標津町児童センター
北海道	留寿都村	るすつ子どもセンターぼっけ

兵庫県	養父市	KARUBE-TREE×TREE(かぶ トリー×トリー)
島根県	出雲市	須佐クリニック
高知県	高知市	健康カフェとりごえ
熊本県	芦北町	芦北町営 湯涌温泉センター
熊本県	阿蘇市	医療法人 宏元会 古閑病院
鹿児島県	鹿児島市	地域生活支援事業所 ほほえみ

■住宅団地等施設(1施設)

岡山県	真庭市	真庭市営CLT春日住宅
-----	-----	-------------

■体育館等施設(8施設)

北海道	知内町	町民プール&子ども交流センター「遊泳館」
北海道	寿都町	寿都町総合体育館
岩手県	一戸町	一戸町武道場「十道館」
福島県	喜多方市	熊倉小学校体育館
富山県	立山町	立山友情館
静岡県	浜松市	静岡県立浜松湖北高等学校 多目的体育館
静岡県	掛川市	静岡県立掛川特別支援学校 体育館
和歌山県	和歌山市	秋葉山県民水泳場



みんなの森 ぎふメディアコスモス(岐阜県)

■その他の施設(20施設)

北海道	函館市	HaKaDaKeHiraha
北海道	下川町	医療植物研究施設
北海道	天塩町	家畜保護施設
北海道	豊頃町	チャレンジショップ
北海道	豊頃町	長瀬湖キャンプ場管理施設
北海道	釧路市	国設阿寒湖畔スキー場ウオッチングハウス
北海道	美幌町	観光拠点施設(道の駅あいかいかわ)
宮城県	女川町	女川温泉浴場施設「女川温泉ゆぽぽ」
群馬県	富岡市	富岡製糸場近隣北広場西四
埼玉県	秩父市	秩父市営馬場
福井県	勝山市	東山いこいの森 屋根付き広場
岐阜県	大垣市	J/Aにの ファーマーズマーケット中川店
愛知県	新城市	道の駅(もくろ新新)
島根県	松江町	須佐チップ工業市松江工場
徳島県	上板町	あおの郷共同生活援助事業所
徳島県	吉野川市	複合型福祉施設「かわせみ」
福岡県	福岡市	東長寺五重塔
宮崎県	日之影町	日之影町キャンプ場バンガロー
宮崎県	小林市	ひなもり家族温泉
宮崎県	宮崎市	道の駅(通称:佐土原いろは館)

頒価(実費)1部650円(消費税込み)(送料実費)
100部以上の場合は割引いたします。

申込書

木材利用推進中央協議会 行

平成 年 月 日

〈平成27年度版〉

写真で見る「木」の施設(冊子)

木造事例集 その30

部 申し込みます。

申込者

住所・送り先 〒 -

電話

請求書の宛先名

TPPに関する情報

自由民主党農林水産戦略調査会の TPP 地方キャラバンが平成 27 年 11 月 7 日（土）大豊町総合ふれあいセンターで開催されました。資料を下記に添付します。

主な林産物の合意内容

品目概要	単位	関税率	2011年～2013年の品目毎の3カ年平均輸入量										世界計
			マレーシア	カナダ	NZ	チリ	ベトナム	米国	豪州	その他	TPP計		
熱帯木材合板(その他)(※1)	m3	6.0	770,121	-	-	-	7,616	41	-	59	777,837	1,351,237	
広葉樹合板(※1)	m3	6.0	616,393	194	-	-	41,502	92	-	-	658,181	1,155,461	
熱帯木材合板(14種)(※1)	m3	8.5～10.0	151,166	-	-	-	-	40	1	-	151,207	368,600	
針葉樹合板(※1)	m3	6.0	223	23,748	50,208	7,401	2,565	2,837	-	-	86,981	154,145	
OSB(※2)	m3	5.0～6.0	-	206,518	0	-	-	462	-	-	206,980	263,578	
パーティクルボード(※2)	m3	6.0	13,035	181	61,442	-	113	24	1,380	-	76,174	84,693	
SPF製材(※1)	m3	4.8	6	1,502,676	55,559	300,059	209	9,686	101	-	1,868,296	5,397,478	
造作用LVL(※2)	m3	6.0	20,234	664	5,999	-	1,231	488	-	-	28,616	478,090	
造作用集成材(※2)	m3	6.0	5,405	286	33	275	6,425	20	-	-	12,445	96,386	
ブロックボード等	m3	6.0	28,203	-	-	-	80	-	-	-	28,282	103,751	
フリー板	m3	2.9	9,267	53	38	1,566	19,733	23	15	-	30,696	320,764	
さねはぎ加工	m3	5.0	6,664	13,813	258	443	1,133	64	36	11	22,423	91,723	
MDF	千kg	2.6	119,373	7	208,176	4,731	213	100	8,913	-	341,514	377,599	
その他建築用木工品	千kg	3.9	72	2,669	33,003	-	553	5,895	2	-	42,193	272,185	
その他木製品	千kg	2.9	2,460	315	4	13	4,411	149	1,508	10	8,869	124,275	

(単位:m3、千kg)

(単位:m3, 千kg)

(凡例)

発効時50%削減、15年目まで横ばいで推移し、16年目で撤廃。セーフガード付き。	
15年間均等引き下げ、16年目で撤廃。セーフガード付き。	
発効時50%削減、10年目まで横ばいで推移し、11年目で撤廃。セーフガード付き。	
10年間均等引き下げ、11年目で撤廃。	
即時撤廃	

(※1) 国会決議品目

(※2) 国会決議品目の主な類似品目

(備考)

- 熱帯木材合板(その他): ベトナム産の一部のラインについては、10年間均等引き下げ、11年目で撤廃。(6ライン)
- 針葉樹合板: ベトナム産の一部のラインについては、10年間均等引き下げ、11年目で撤廃。(3ライン)
- 造作用LVL: 針葉樹以外のものについては、即時撤廃。(2ライン)
- 造作用集成材: 針葉樹以外のものについては、即時撤廃。(2ライン)
- その他建築用木工品: CLTについては、8年間均等引き下げ、9年目で撤廃。(1品目)

高知会場の申込み受付は 12 月 24 日締切りです。

資格者養成研修会平成 27 年度予定表

品目	開催（予定）日	開催場所	申込み・連絡先
製材	H28. 1. 13～14	高知市高須砂地 155 サンピアセリーズ	高知県木材協会 ☎ 0888-883-6721
製材	H28. 2 月頃	江東区新木場 1-18-8 東京木材会館	全国木材検査・研究協会 ☎ 03-6206-1255
枠組	H27. 10. 15～16	江東区新木場 1-18-8 東京木材会館	全国木材検査・研究協会 ☎ 03-6206-1255
枠組	H28. 2 月頃	大阪市西区新町 3-6-9 大阪木材会館	全国木材検査・研究協会 ☎ 03-6206-1255
保存	H27. 12 月頃	江東区新木場 1-18-8 東京木材会館	全国木材検査・研究協会 ☎ 03-6206-1255

※品目：

製材＝構造用製材（造作用及び下地用含む）、人工乾燥処理構造用製材（前同）、

天然乾燥処理構造用製材（前同）、機械等級区分構造用製材

枠組＝枠組壁工法構造用製材、人工乾燥枠組壁工法構造用製材

保存＝保存処理構造用製材（造作用及び下地用含む）、保存処理枠組壁工法構造用製材

受講料：新規研修（2 日間）1 名につき 27,000 円（テキスト・昼食費代含む）

更新研修（初日のみ）1 名につき 16,200 円（テキスト・昼食費代含む）

定員：100 名

研修対象者：

【新規対象者】 JAS 認定の取得を予定している工場の従業員で、資格の取得を希望する者

【更新対象者】 平成 23 年度に研修を受け、資格を取得又は更新した者は、3 年ごとに研修会を受講する必要がある、今回の 1 日更新研修を受講することで、現在の資格が継続されます。

※研修終了後 3 年を経過してから次年度中に更新研修を受講しない場合には資格は消失します。



写真は平成 25 年 10 月講習（サンピア）の様子

木造住宅等地域材利用拡大事業報告

高知県林業活性化推進協議会が助成事業申請窓口となって、以下のような事業を行いました。

① 展示会の開催、地域材活用キャンペーン事業

地域材の利用拡大を目的とする、川上～川下連携による優良事業所紹介や展示相談会の開催。

展示相談会で新たに取組む地域産桧材の J A S 認定集成梁・柱や、地域産KD木材の利用促進モニターを募集。また、新築・リフォームにおける一部木材を提供する地域材活用キャンペーンの実施や現在と施工後3年後等アンケートの実施等、活用促進のための今後の課題掘り起しを実施し、木材需要拡大に取り組みました。



② モデル的設計パターンの作成事業

有識者を交えた委員会を設置し、90mmのCLTパネルを木造住宅の2階床剛床パネルとして活用する手法と設計パターンについて検討しました。

③ 地域木材利用促進方法の見える化事業

地域型住宅ブランド化事業参加事業所をベースに川上の原木から木材流通事業者全体の位置情報等をデータベース化し、木材産地等の希望する地域をそれぞれ選択することにより、全国どの地域においても選択した木材の移動において排出するCO2を数量化し、遠方からの木材利用との差を見える化するソフトを開発しました。

④ 優良事例集の取りまとめ

地域型住宅ブランド化事業での、協議会参加事業所による取組み事例を集め、今後の地域木材需要拡大に繋げるための啓発資料の取りまとめ・作成を行いました。

⑤ 高知の「山・木・家」特別展示

地域材の利用拡大を図るため、健康、省エネ、安全をキーワードにした地球に優しく人に優しい地域木造住宅を中心にした木造住宅フェアを高知市内で10月24日～25日の二日間開催しました。またフェア前後に高知県環境共生住宅モデルハウス内で一定期間、常設的に行いました。高知県の森林、林業、木材産業、森林の機能、木材の特性、木造住宅と健康・省エネとの関係データ、こうち健康・省エネ住宅モデルプラン等に関する作成・展示や木の家の魅力を情報提供する図書コーナーを設置しました。

(右ページに成果報告書を載せています。)



1-1 提案の名称	木造住宅等地域材利用拡大事業
1-2 事業テーマ	高知の「山・木・家」特別展示
1-3 事業内容の概要、具体の取組内容	
(目的) 地域材の利用拡大を図るため、健康、省エネ、安全をキーワードにした地球に優しく人に優しい地域木造住宅を中心にした特別展示を木造住宅フェア及びフェア前後に高知県環境共生住宅モデルハウス内で一定期間、常設的に行う。高知県の森林、林業、木材産業、森林の機能、木材の特性、木造住宅と健康・省エネとの関係データ、こうち健康・省エネ住宅モデルプラン等に関する展示や木の家の魅力を情報提供する図書コーナーを設置する。 (実施内容) ・10月24日（土）～25日（日）高知市中央公園で木造住宅フェアを実施。 ・高知県環境共生住宅モデルハウス内に7月、木の家をテーマにした図書室が完成。 ・高知県環境共生住宅モデルハウス内にて、木造住宅の温熱性能計算数値を標記したモデルプランのパネル展示を実施。 ・「こうち健康・省エネ住宅」モデルプラン集の作成。 ・木の住まいに関わる暮らしや住宅について第一戦で活躍している著名人によるトークイベントを実施。 (事業の効果と今後の課題) 関連団体が主催する高知県木造住宅フェアにおいて標記の特別展示を行い、2日間で20,000人の集客があった。また高知県の環境共生住宅モデルハウスを会場として、高知の「山・木・家」をテーマとし一定期間（2週間）連続的に常設展示し、高知県木材普及推進協会が隔週実施している県内の木造住宅紹介のテレビ報道を通じて、常設展示の広報を行い、延べ約300人の来客があった。環境共生住宅モデルハウスは、健康・省エネのエコ技術を導入したモデル住宅2棟（子育て世代と高齢者世代）となっており、この特別展示を契機にして、その後の見学者の大幅な増加が期待できる。次年度も今年以上の集客を目指してこのようなイベントを行う。	
 木の図書館オープン おもちゃ活用  木造住宅フェアでの木の 活動  木造住宅フェアでの木育	

平成 28 年度林野庁予算概算要求の概要

林野庁ホームページより抜粋

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進

林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進



○森林吸収源対策の財源確保については、本年6月の骨太方針(※)に基づき、今年末に向け、引き続き検討・調整
※「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源の確保について、財政面での対応、森林整備等に要する費用を国民全体で負担する措置等、新たな仕組みの導入に關し、(中略) COP21に向けた2020年以降の温室効果ガス削減目標の設定までに具体的な案について結論を得る」

右ページに詳細あり

新たな木材需要創出総合プロジェクト

新たな木材需要創出総合プロジェクト

【平成28年度予算概算要求額 1,598(1,447)百万円】

背景

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、森林資源のフル活用に向け、A材、B材、C・D材といった幅広い用途において、新たな木材の需要拡大に積極的に取り組む必要。

実施内容

林業の成長産業化を実現するため、木材利用が低位な都市部の建築物等における木質化を推進するための製品・技術の開発・普及や、木造建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での地域材利用の拡大により、新たな木材需要を創出。

都市の木質化等に向けた新たな製品・技術の開発・普及

【539(486)百万円】

○木材需要のフロンティアとなる都市部の中高層建築・低層非住宅建築等をターゲットとした「都市の木質化」等を推進。

CLT等中高層建築物等の木質化に係る技術の開発・普及
(拡充)



CLTの汎用性拡大に向けたCLT強度データ等の収集



中高層建築物等の木質化に向けた木質耐火部材等の開発



製材品の需要創出・高付加価値化等に向けた製品・技術の開発・普及

木材を利用した建築物の建設に携わる設計者の育成等の促進



店舗等低層非住宅建築物の木質化に向けた取組の支援



CLTの施工方法の確立及びコストダウンに向けたCLTを活用した先駆的建築の支援



木材を利用した建築物に携わる設計者等を育成する取組の支援や木材の健康効果・環境貢献等の評価・普及

地域材利用促進

【1,059(960)百万円】

○様々な分野における木材需要の拡大に向けた技術開発、調査や普及啓発等を推進し、豊富な森林資源をフル活用。

公共建築物等の木造化等の促進(拡充)



設計段階からの技術支援や木造と他構造の設計を行い、両者のコスト比較により木造化へ誘導

新規分野における木材利用の促進



土木等新規分野での木材利用の実証・普及

工務店等と林業・木材加工業の連携による住宅づくりへの支援



地域材のサプライチェーンの構築や意匠性の高い木材の現し利用などの付加価値向上につながる取組等を支援

木づかい・森林づくり活動の全国的な展開(拡充)



国民参加の森林づくりの活性化に資する取組や、木づかい運動、木育等の取組を支援

木質バイオマスの利用拡大(拡充)



木質バイオマスの利用拡大に向けた相談窓口の設置、燃料の安定供給体制の強化、技術開発・調査等を支援

海外での地域材利用



モデル建築における日本産木材の利用・展示等の取組を支援

違法伐採対策の推進(拡充)



違法伐採対策の強化に対応できる体制の整備等を図るほか、合法木材の普及を促進

平成32年の国産材供給・利用量3,900万m³を達成し、林業の成長産業化を実現

第 41 回木材まつり 優良土佐材展示即売会

素材の部

(株) ゲンボク市場 平成 27 年 10 月 21 日(水)



官民あわせて 2,000 m³の材が出材され、県内外から多くの買い方で賑わいました。
ほぼ完売でき、売上額は約 2,800 万円の実績となりました。

優良材の出材で以下の方々が表彰されました。

高知県知事賞	今安林業 様
四国森林管理局長賞	三野 廣紀 様
高知県木材協会長賞	小笠原 無我 様
〃	山中 節夫 様
〃	松尾林業 様



製材品の部

(株) 土佐中央木材センター

平成 27 年 11 月 13 日(金)



優良製品の出品で以下の方々が表彰されました。

高知県知事賞	(有)丸桧 様
四国森林管理局長賞	(有)秋山木工場 様
高知県木材協会長賞	窪内木材(株) 様
〃	(有)門田林産 様
〃	(株)森岡木材 様

出材量：約 580 m ³	販売量：約 260 m ³
参加者：50 人	販売額：約 2,200 万円



水都おおさか 森林の市 2015



日：平成 27 年 10 月 4 日（日）

場所：近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園

来場者：約 20,000 人

大阪での木材普及イベントに参加しました。
大阪城近隣の緑豊かな河川敷にテントが並び自由な市が開催されました。

高知県木材協会からは木工品の展示と木の玉プール・木のおもちゃを貸出しました。



2015 ウッディフェスティバル in 高松



日：平成 27 年 10 月 10 日（日）・11 日（月）

場所：サンメッセ香川

来場者：約 11,000 人（2 日間）

香川県で毎年開催される木材需要拡大イベント

高知県木製品工業連合協同組合からクルミ工房・なかよしライブラリーが出展しました。



幡多山もりフェス 2015



日：平成 27 年 11 月 1 日（日）

場所：四万十川左岸河川敷

来場者：約 3,000 人

高知県西部の森林組合が毎年持ち回りで開催する木材普及イベント
多数の林業機械メーカーも参加しています。

高知県木材協会からは合法木材の普及促進コーナーと木の玉プール・木のおもちゃを貸出しました。



毎年、雨にたたられるイベントでしたが、今年の天気は終了間際までなんとかもちました。

木のぬくもり♪ 森のママまつり in 大阪



日：平成 27 年 11 月 3 日（火・文化の日）

場所：大阪南港 A T C ハーバーアトリウム

来場者：約 6,000 人

大阪府が主催する木育イベント
高知県（大阪事務所）からは龍馬くんも出張しました。

高知県木材協会からは木の玉プール・木のおもちゃを貸出しました。



土佐材流通促進協議会

1.展示会事業(高松太洋木材市場 第1回土佐材まつり)



日時：平成 27 年 11 月 12 日（木）10：30～15：30

場所：香川県高松市郷東町 高松太洋木材市場

来客数：約 40 人

県内出展企業：13 社

展示品：桧・杉の一般材・役物 約 250 m³

販売数量：約 130 m³

売上額：約 750 万円（土佐材のみ）

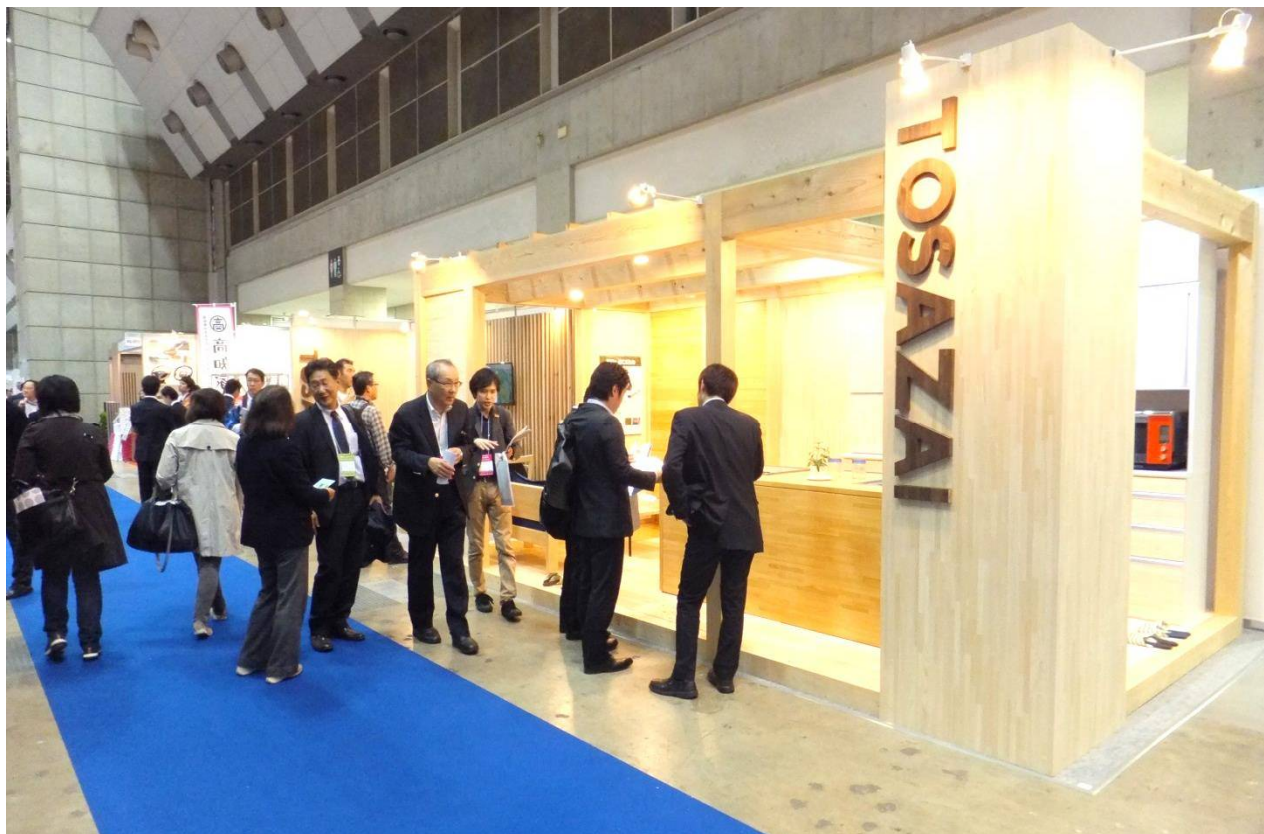
高知県産材の消費地として最も近くてお馴染みの香川県。

土佐材流通促進協議会として、四国で初めての展示会を開催することができました。



高松太洋木材市場様は今後も土佐材の流通拠点としてお世話になります。

2.消費地商談会事業(JapanHome&BuildingShow2015)



今年で3回目となるジャパンホームショーへの出展です。
高知県産業振興センターと高知県森林技術センターの協力を得て、構造体の展示を行いました。



開催日：平成 27 年 11 月 18 日(水)～20 日(金)

場所：東京都江東区有明 東京ビッグサイト 東 4 ホール

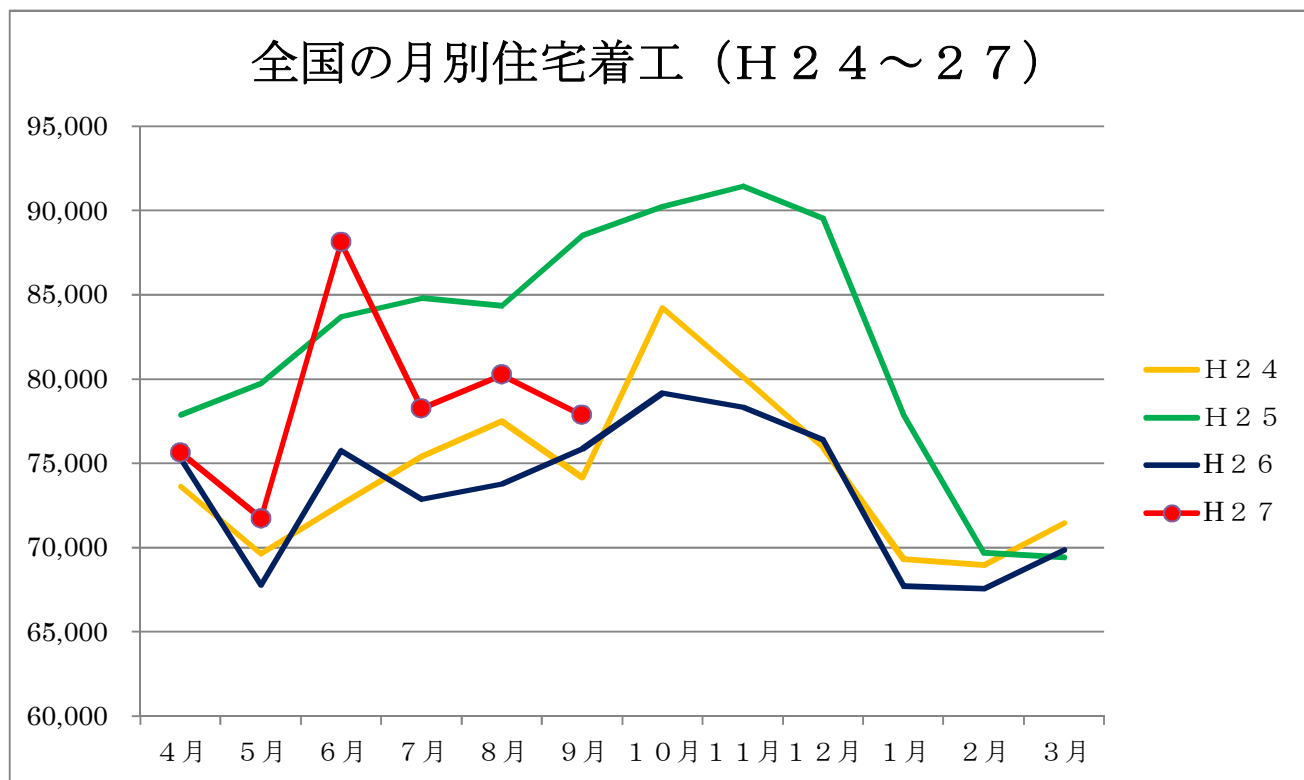
登録来場者数：32,831 人(3 日間合計)

参加企業：(株)吾川森林・(協)ドライウッド土佐会・(協)高知木材センター
(株)エスエークラフト・四万十町森林組合大正集成工場

住宅着工情報

資料 (1) 全国住宅着工数

平成２７年　　９月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表																(単位：戸、％)	
	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建				
		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年		対前年			
	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比	戸数	同月比			
北海道	3,389	10.9	1,100	11.8	1,833	6.7	21	950.0	435	23.6	303	50.0	132	-12.0			
青森	693	26.0	392	8.0	249	54.7	3	-	49	88.5	0	0.0	41	57.7			
岩手	663	-14.8	416	6.1	218	-13.5	3	-40.0	26	-79.8	0	-100.0	26	-43.5			
宮城	1,971	3.5	692	8.1	982	-1.7	3	50.0	294	11.8	52	-20.0	242	22.2			
秋田	315	-4.3	208	-9.6	88	10.0	1	0.0	18	0.0	0	0.0	18	0.0			
山形	542	43.8	267	31.5	223	75.6	1	-	51	8.5	0	0.0	51	8.5			
福島	1,401	33.4	637	4.8	642	84.0	4	-55.6	118	40.5	0	0.0	118	40.5			
茨城	1,911	2.9	794	-9.5	838	16.6	5	150.0	274	5.4	0	0.0	274	5.4			
栃木	1,041	-12.7	568	4.0	328	-23.4	2	-86.7	143	-29.9	0	-100.0	143	-3.4			
群馬	1,258	45.4	614	17.2	365	114.7	4	-50.0	275	68.7	83	-	192	17.8			
埼玉	4,713	5.9	1,509	15.4	1,911	14.1	6	500.0	1,287	-12.2	173	-54.7	1,108	3.7			
千葉	3,633	-12.3	1,091	2.2	1,498	27.5	46	1,050.0	998	-47.3	275	-74.9	719	-10.0			
東京	11,329	-8.2	1,416	-4.3	5,685	18.1	100	-75.4	4,128	-26.8	2,470	-39.0	1,591	2.0			
神奈川	5,691	14.2	1,351	15.8	2,472	23.7	2	-99.2	1,866	18.9	684	38.2	1,130	7.6			
新潟	1,062	7.4	592	1.9	406	18.4	1	-50.0	63	0.0	0	0.0	63	0.0			
富山	586	20.3	270	-0.7	275	39.6	2	-	39	116.7	0	0.0	39	116.7			
石川	714	16.5	351	15.8	242	-6.2	2	-	119	128.8	51	-	62	19.2			
福井	304	6.7	218	14.1	68	-8.1	0	-100.0	18	-5.3	0	0.0	18	-5.3			
山梨	449	-5.3	297	40.8	119	-50.8	0	-100.0	33	73.7	0	0.0	33	73.7			
長野	824	-8.7	527	-14.3	205	6.2	0	-100.0	92	-2.1	0	0.0	87	-7.4			
岐阜	799	-1.4	515	-1.3	151	14.4	0	-100.0	133	-14.2	28	-	105	-32.3			
静岡	1,987	-12.1	969	-15.4	542	-19.2	5	-16.7	471	7.3	269	68.1	202	-27.6			
愛知	5,683	11.4	1,602	-10.8	2,453	29.7	21	0.0	1,607	15.4	834	50.5	773	-7.8			
三重	885	8.7	470	6.6	306	20.9	20	-	89	-25.8	0	-100.0	87	11.5			
滋賀	841	19.8	332	-8.5	389	69.1	2	-	118	8.3	0	0.0	118	8.3			
京都	1,614	-1.1	468	10.1	751	-15.9	0	-100.0	395	29.5	114	159.1	281	7.7			
大阪	5,975	9.8	1,072	24.9	2,903	11.3	11	450.0	1,989	0.7	928	-13.8	1,061	20.4			
兵庫	2,292	-22.3	788	-11.4	892	0.7	3	-75.0	609	-47.5	190	-69.0	405	-26.1			
奈良	622	25.9	246	7.9	147	-12.5	0	0.0	229	133.7	84	-	145	48.0			
和歌山	353	-27.5	208	-14.0	109	-44.9	1	0.0	35	-23.9	0	0.0	35	-23.9			
鳥取	229	7.0	103	3.0	109	1.9	0	-100.0	17	183.3	0	0.0	17	183.3			
島根	332	22.1	130	-3.0	133	12.7	2	-	67	235.0	61	-	6	-70.0			
岡山	1,223	22.8	492	13.1	427	-1.6	11	1,000.0	293	132.5	215	330.0	78	2.6			
広島	1,364	3.9	467	8.1	528	14.8	1	-98.6	368	6.1	146	23.7	222	-3.1			
山口	894	28.6	270	-6.3	525	67.7	2	-	97	3.2	39	-40.9	58	107.1			
徳島	354	-10.6	189	9.9	156	-9.8	0	-100.0	9	-81.6	0	-100.0	9	-30.8			
香川	584	30.6	289	20.4	250	34.4	0	0.0	45	114.3	0	0.0	45	114.3			
愛媛	694	33.2	330	2.8	262	58.8	2	-	100	185.7	72	-	28	-20.0			
高知	235	-17.3	148	22.3	62	77.1	0	0.0	25	-80.5	0	-100.0	25	-13.8			
福岡	3,145	-0.5	827	-4.6	1,564	-2.8	3	-83.3	751	12.8	485	39.4	266	-16.4			
佐賀	475	63.2	184	1.7	256	220.0	1	0.0	34	17.2	0	0.0	34	17.2			
長崎	366	-37.4	245	-2.0	94	-69.3	1	-	26	-10.3	0	0.0	26	-10.3			
熊本	823	-7.9	410	-1.4	312	-3.1	10	900.0	91	-41.3	0	-100.0	91	18.2			
大分	587	-25.9	233	-12.4	321	-4.5	1	-50.0	32	-83.0	0	-100.0	32	-17.9			
宮崎	659	26.5	232	-14.4	328	59.2	1	-50.0	98	133.3	72	-	26	-38.1			
鹿児島	841	-4.6	409	1.0	358	2.0	13	85.7	61	-48.7	0	-100.0	61	-4.7			
沖縄	1,527	17.4	281	13.8	1,117	14.2	5	-66.7	124	103.3	96	118.2	28	64.7			
合　計	77,872	2.6	25,219	2.4	34,092	13.3	322	-63.7	18,239	-10.1	7,724	-22.4	10,351	1.0			
北海道	3,389	10.9	1,100	11.8	1,833	6.7	21	950.0	435	23.6	303	50.0	132	-12.0			
東北	5,585	12.0	2,612	7.2	2,402	22.1	15	-11.8	556	-1.9	52	-64.9	496	18.4			
関東	30,849	-1.1	8,167	4.8	13,421	17.6	165	-76.1	9,096	-19.6	3,685	-39.4	5,277	2.2			
北陸	2,666	12.3	1,431	6.2	991	13.6	5	66.7	239	57.2	51	-	182	19.7			
中部	9,354	4.1	3,556	-8.9	3,452	17.1	46	64.3	2,300	9.2	1,131	49.6	1,167	-13.6			
近畿	11,697	-0.1	3,114	3.6	5,191	4.2	17	-29.2	3,375	-8.6	1,316	-24.1	2,045	5.2			
中国	4,042	15.8	1,462	5.3	1,722	20.3	16	-78.9	842	42.0	461	97.0	381	6.1			
四国	1,867	13.3	956	11.9	730	30.6	2	0.0	179	-23.2	72	-45.9	107	9.2			
九州	6,896	-3.2	2,540	-4.4	3,233	0.7	30	-3.2	1,093	-11.0	557	-10.2	536	-10.4			
沖縄	1,527	17.4	281	13.8	1,117	14.2	5	-66.7	124	103.3	96	118.2	28	64.7			
首都圏	25,366	-2.1	5,367	6.9	11,566	19.7	154	-76.7	8,279	-21.7	3,602	-40.2	4,548	1.6			
中部圏	9,354	4.1	3,556	-8.9	3,452	17.1	46	64.3	2,300	9.2	1,131	49.6	1,167	-13.6			
近畿圏	11,697	-0.1	3,114	3.6	5,191	4.2	17	-29.2	3,375	-8.6	1,316	-24.1	2,045	5.2			
その他地域	31,455	7.4	13,182	3.9	13,883	11.2	105	-39.7	4,285	9.1	1,675	16.6	2,591	4.6			



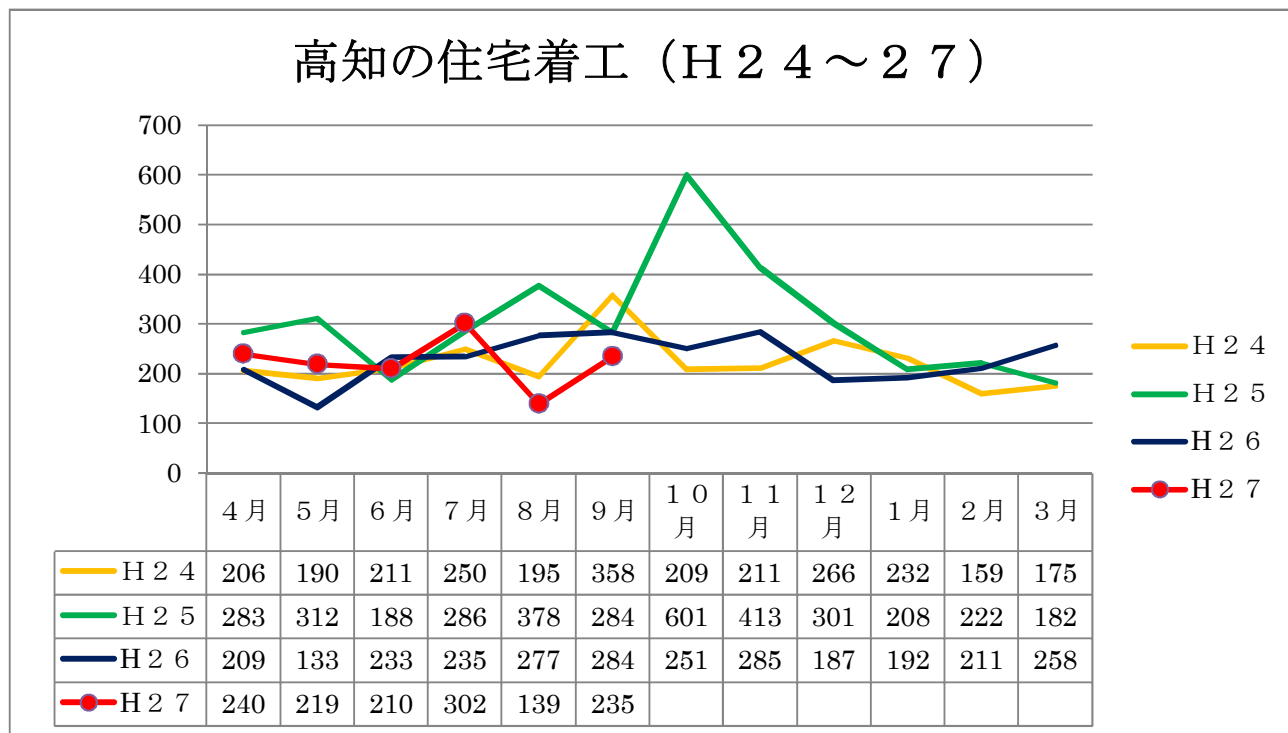
平成 27 年 9 月の全国の新設住宅着工数は 77,872 戸（2.6%増）、7 ヶ月連続で前年より増加した。国交省は消費増税反動の影響が薄れ、持ち直しているとの見方をしめしているが、地域差が大きく、厳しい状況が続いているところも少なくない。

持ち家（注文住宅）は、前年同月比では 2.4%増の 25,219 戸となり 5 ヶ月連続の増となった。市場をけん引していた貸家は前年同月比 13.3%増で 5 ヶ月連続プラスで推移しているが、次第に軟調になっている。

分譲住宅は前年同月比 10.1%減の 18,239 戸で特にマンションが前年同月比 22.4%減の 7,724 戸の大幅減となった。基礎杭打ちの不正問題など消費者の心理にマイナス影響を与える事件もあり、様子見感が広まる可能性がある。

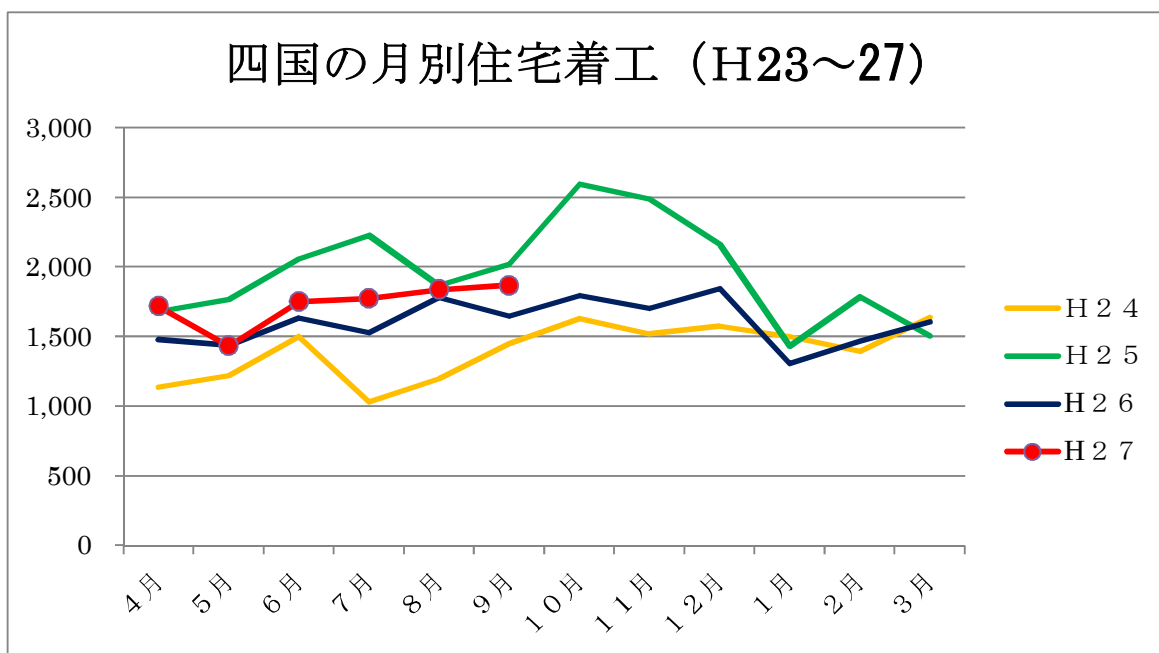


資料(3) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 24～27 年 9 月まで)



高知県の平成 27 年度の住宅着工数は、8 月が全項目マイナスで全体でも前年度比－49.8%と約半分だったが、9 月は－17.3%と若干持ち直した。持ち家については、8 月は－14.4%の 113 戸だったが、9 月は+22.3%の 148 戸で増加した。好調だった貸家については 8 月－88.8%の 10 戸と大幅減だったが、9 月は+77.1%の 62 戸に戻している。今回、大幅に着工数が落ちたのは、分譲で、8 月が－70.9%の 16 戸、9 月が－80.5%の 25 戸となっていて、特に分譲マンションが 2 ヶ月連続で 0 戸と大幅減の要因となっている。分譲住宅については 8 月＋－0 の 16 戸、9 月は－13.8%の 25 戸とやや減少している。年末にかけては、前年並みに推移する様相。

資料(4) 四国の月別新設住宅着工数(平成 25～27 年 9 月まで)

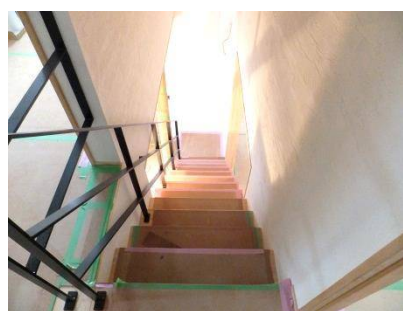


土佐材住宅展示場が千葉県にオープン



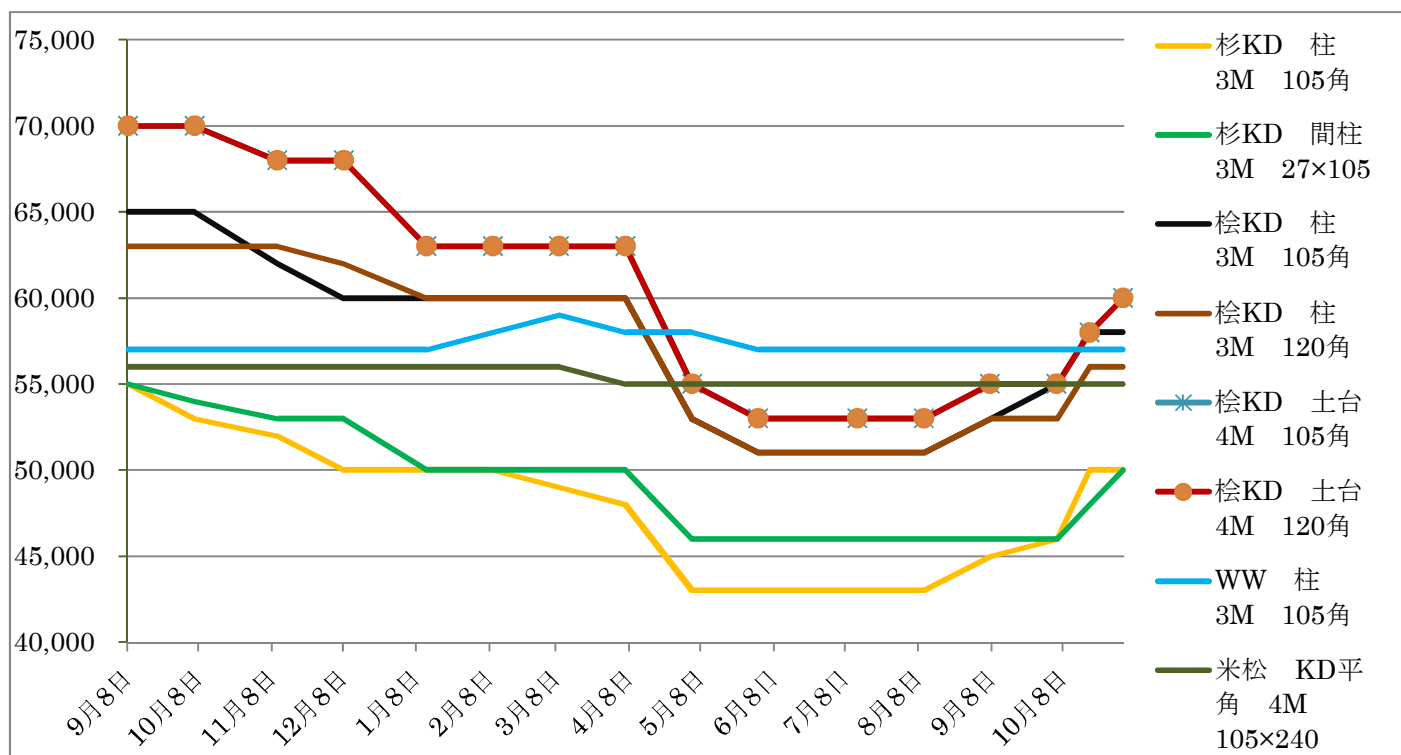
写真は 11 月 16 日時点の最終仕上げ段階 (11/21 から現地見学会を開始)

千葉県市川市国府台に土佐材をふんだんに使用したモデル住宅がオープンしました。関東地域での土佐材パートナー企業(株)DAISHU が建設しました。最低 1 年間はモデルハウスとして使用するという条件で高知県から使用木材 1 m³あたり 15,000 円の補助金が出る制度を利用しています。この展示場を足掛りに今後も県外に土佐材住宅を増やしていきたいです。



木材価格情報

資料(5) 製品市況 関東市売り場(26年9月～27年11月2日まで)



(備考：桧KD土台 4M 105角 と 桧KD土台 4M 120角 は同価格の為、グラフが重なって見えます。)

平成 27 年 11 月の国産材製品市況は、プレカット各社の受注が回復傾向にあり、緩やかだが桧の土台角を中心に受注が回復の様相。杉小割材もホワイトウッドの品薄を受けて回復傾向。

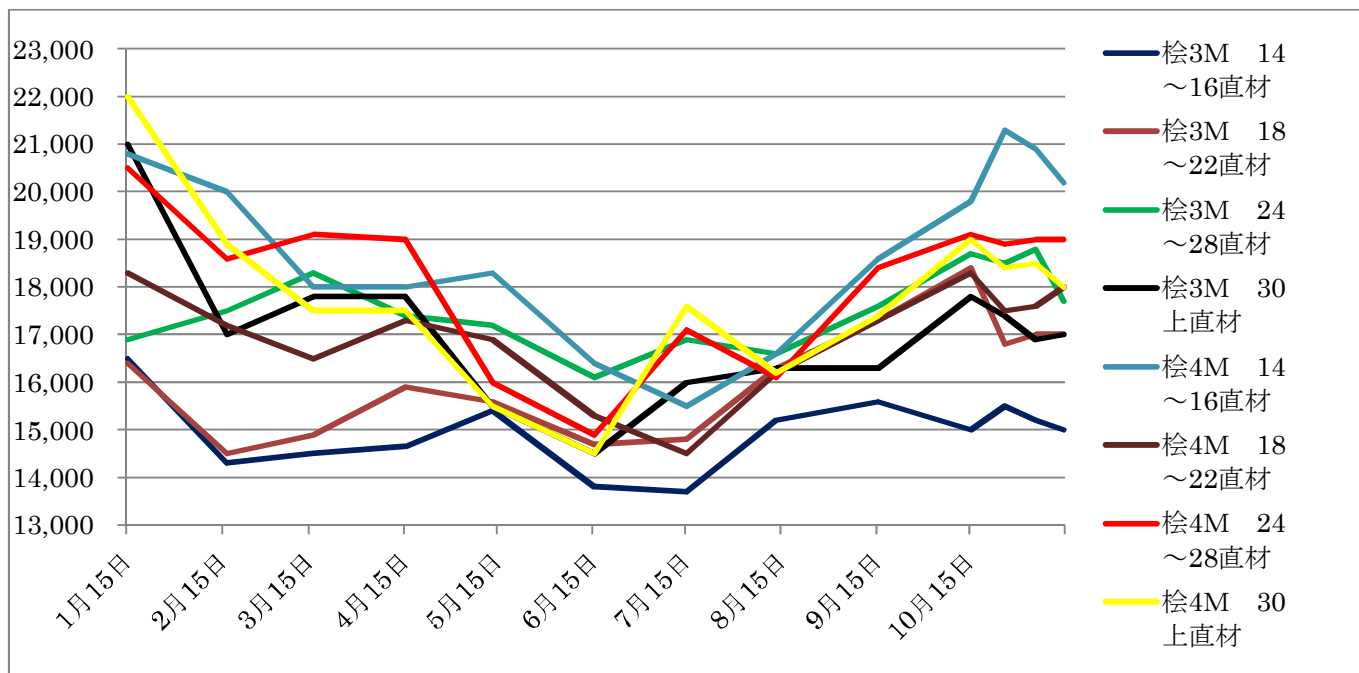
本格的に秋需の時期にきたようだ。

受注は回復傾向にあるが、製品価格については多少戻しぎみではあるものの押し上げるほどの力強さは無い。

外材は現地契約価格の値上げにより、輸入価格は上昇傾向だが、製品需要に力強さがなくホワイトウッド間柱以外の価格は横ばいで推移している。



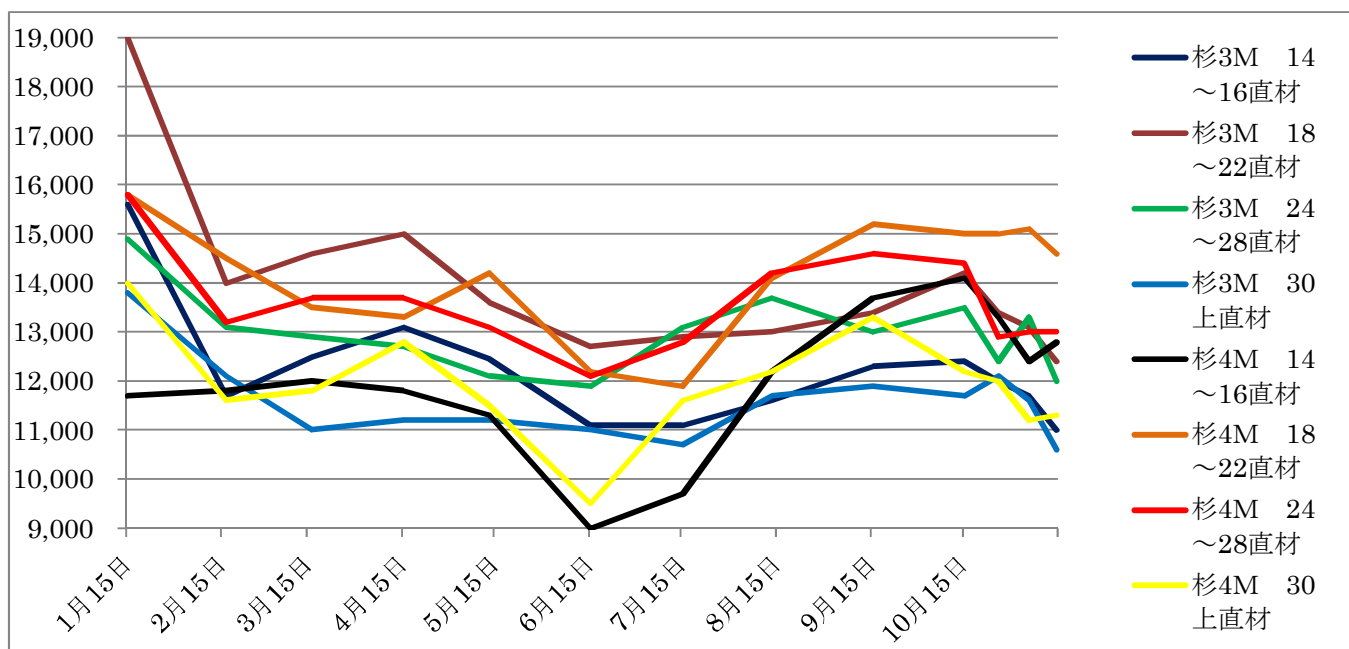
資料(6) 平成 27 年丸太市況 桧 3～4M (久万広域森林組合分) 11 月 14 日まで



平成 27 年 11 月の桧丸太価格は、10 月に入ってから伐採期になり、天候も良く出材も増加している。丸太価格は、3m材については柱材の需要不振で弱保合で若干下落傾向に推移し、4m材は土台の需要があり、価格は強保合で推移している。

今後は、年末にかけて製品需要が全体的に弱めで、丸太の出材の見込みも有る為、価格は横ばい～若干の下落傾向で推移する様相である。選木、長尺も同様に推移の様相。

資料(7) 平成 27 年丸太市況 杉 3～4M (久万広域森林組合分) 11 月 14 日まで



平成 27 年 11 月の杉丸太価格は、10 月に入ってから伐採期になり、天候も良く出材も増加している。丸太価格は、3m材については柱材の需要不振で弱保合で若干下落傾向に推移し、4m材も同様に弱保合で推移している。今後は、年末にかけては製品需要が全体的に弱めで、丸太の出材の見込みも有る為、価格は横ばい～若干の下落傾向で推移する様相である。選木、長尺も同様に推移の様相。

11 月の商況

平成 27 年 11 月の商況は、プレカットの受注状況が 9 月後半から回復傾向に入り、10～11 月も引き続き回復基調が続いているが、需要は非常に緩やかで製品相場は構造材を中心に底値は脱したが、相場を押し上げるほどの勢いは感じられない。

一方で製材会社は原木の出材が減少している中、価格が上昇し体力を消耗している。10 月半ばからの出材増で多少価格が下がってきたが、製品価格を押し上げるほどの需要も見込まれず、競合する構造用集成材や米松製品の価格が同様に横ばいであるため、価格上昇が見込めず、苦戦が続く見込みだ。

(1) 丸太相場

国産材丸太相場は伐採シーズンを迎え、天候も順調なため出材が増え、原木市場にも活気が戻りつつある。一方で製品市況は一部を除いて上昇せず、一般材の市況は目先の丸太調達に安心感が出た西日本では、桧 4m 土台角取り以外の丸太は、軟化に転じた。

杉丸太は出材も多く全体的に弱保合になっている。役物丸太は、記念市等が多く開かれ良材は活気づいている。今後製品市況が上昇する見通しもなく、当面は製材工場の体力消耗が懸念される。



久万広域森林組合11月14日相場表

		杉		桧		
長さ	末口計	直	曲	直		曲
3.00	8～11	230	230	289	289	
	12	7,800		11,200		
	13		7,800		11,200	
	14	9,700	7,700	12,700	11,500	
	16	12,300	11,600	17,300	15,300	
	18～22	12,400	10,600	17,000	15,000	
	24上	12,000	10,200	17,000	16,600	
	30上	10,600	9,600	17,000	15,000	
4.00	8～11	482	482	489	489	
	12	13,100		14,400		
	13		10,800		13,500	
	14～16	12,800	9,400	20,200	18,100	
	18～22	14,600	11,600	19,000	16,200	
	24上	13,000	11,200	18,000	16,300	
	30上	11,300	10,000	21,200	18,000	
6.00	18上	18,500	16,800	24,100	21,000	

(注) 3桁は本売り 単位 m^3

(2) 国産材製品相場

原木の出材減や、木質バイオマス発電所の相次ぐ稼働により、原木価格は高止まりしている。

秋の伐採期に入り出材が多くなり、多少価格は下げてきたが、大手メーカーを中心に値上げの姿勢を強めており、製品の極端な安値が見られなくなり、一部商品で値戻しの動きとなっている。

プレカット工場の稼働率は上昇しているが、国産材の製品の荷動きは活発化せず、需要家は慎重な姿勢を維持している。このため製品の値上げしたいメーカー側と需要者側の差は大きく、このまま年末年始に向かうとの見方が大勢だ。役物も同様で、需要期だが荷動きは鈍い。



首都圏市場の木材標準相場表 単位m ³					
品目	樹種	寸法	等級	10月	11月
柱角	杉(KD)	3M 105mm角	特等	50,000	50,000
間柱	杉(KD)	3M 30×105mm	特等	48,000	50,000
柱角	桧(KD)	3M 105mm角	特等	55,000	58,000
柱角	桧(KD)	3M 120mm角	特等	53,000	56,000
土台角	桧(KD)	4M 105mm角	特等	58,000	60,000
土台角	桧(KD)	4M 120mm角	特等	58,000	60,000

(3) 米材

米国産米松の大手製材向け 11 月積の日本向け輸出価格は前月比で保合となった。伐採が回復し、需要が緩和して価格も下落基調になっている。カナダ産米松丸太も横ばいで推移している。国内挽き製品は秋の需要期に入り、引き合いは改善しているが、製品相場を押し上げる程ではなく米松国内挽き製品は全般に保合となっている。米ツガ・米ヒバも保合。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)				単位m ³	
	樹種	寸法	等級	10月	11月
平角	米松KD	4M 105×270mm	特等	56,000	56,000
平角	米松グリーン	4M 105×270mm	特等	44,000	44,000
角材	米松KD	4M 105mm角	特等	58,000	58,000
タルキ	米松KD	4M 45×45mm	特等	60,000	60,000
タルキ	米松グリーン	4M 45×105mm	特等	45,000	45,000
注入土台角	米ツガ	4M 105mm角	特等	55,000	55,000
首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)				単位m ³	
角材	米松KD	4M 105mm角	特等	55,000	55,000
タルキ	米松KD	4M 45×105mm	特等	58,000	58,000
タルキ	米松KD	4M 45×90mm	特等	56,000	56,000
タルキ	米松KD	4M 45×60mm	特等	55,000	55,000
角材	米ツガ	4M 105mm角	特等	52,000	52,000
角材	米ヒバ	4M 105mm角	特等	52,000	52,000

(4) 欧州材・ロシア材

欧州の製材メーカーは中近東や北アフリカ・中国などの下級材市場の不振で欧州の製材メーカーどうしの間で減産の動きが出ている。この流れで製品・ラミナの輸出価格は強気配だが、プレカット工場の仕事量が増して国内需要は引き締まっており、集成平角を中心に製品相場は膠着し、横ばいで推移している。



ロシア材は丸太造材の端境期で入荷減の強気配となっているが、市中在庫やメーカーの購買意欲はさほど高まらず、製品価格は横ばいで推移している。

首都圏市場の木材標準相場表			単位 m ³		
	樹種	寸法	等級	10月	11月
集成平角(国産)	Rウッド	4M 105×240mm	特等	58,000	58,000
集成管柱(国産)	Wウッド	3M 105mm角	特等	1,850	1,850
間柱(欧州産)	Wウッド(KD)	3M 27×105mm	特等	51,000	51,000
集成平角(欧州産)	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱(欧州産)	Wウッド	3M 105mm角	特等	57,000	57,000
ラミナ	Wウッド	乱尺		35,000	35,000
ラミナ	Rウッド	乱尺		37,000	37,000
ロシアタルキ	アカ松KD	3.8M 35×35mm	特等	65,000	65,000
ロシア胴縁	アカ松KD	3.8M 16×40mm	特等	70,000	70,000

(5) NZ・チリ材

NZ・チリ材製品の荷動きは低迷している。梱包用・パレット用ともに不振で実需不足が資材消化を鈍くしている。輸出梱包は中国向けが悪化して以降、活気はないが一部で精密機械などの仕事があり需要はまだら模様だが、先行きの好材料は今のところ見当たらない。

NZ産丸太は秋口まで中国向けが大幅下落していたが、ここにきて需給バランスが改善に兆しをみせており、今後の価格動向について日本側も注目している。

製品荷動きでは輸出関連は夏場の不振に比べると若干良くなっている程度、国内向け仕組みカット材は10月上旬ころから例年並みの引き合い、パレット需要も一部の業種を除きマーケットは低迷している。

梱包関連標準相場表			単位 m ³		
	樹種	寸法	等級	10月	11月
割板	ラジアタ松	4M 15×240mm	特等	42,000	41,000
割角	ラジアタ松	4M 27×85mm	特等	40,000	39,000



(6) 針葉樹合板

国産針葉樹合板は全国的にメーカー在庫が減少している。

9 月下旬から実需の本格化が始まり、10～11 月がピークと見られる。これにより各メーカーは 9 月より減産幅を縮小してきた、9 月の生産量は減産前の生産水準である 21 万 m³まで回復している。

今後の懸念は、来年に入って需要増が落ち着いた後も、今年前半の様に増産体制が続き在庫が大幅に増え、価格下落に繋がらないかが心配される。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表			単位 枚	
	樹種	寸法	10月	11月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	850	850
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,150	1,150
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,680	1,680
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	1,980	1,980

(7) プレカット

全国の 11 月のプレカット会社の受注状況としては、他社に先行して受注を確保していたプレカット会社の稼働が 10 月下旬ごろから本格化するなかで、受注には一服感が出ている。

一方、これまで伸び悩んでいたプレカット会社も受注を確保しはじめてきた。11 月の受注平均は 105.1%と全年比－0.1%減とわずかに減少したが、10 月の稼働平均値は 103.9%と+1.0%と伸びている。

9 月ごろから受注が徐々に回復傾向だったが、稼働の回復は遅れ気味で、この要因は天候不順による工事の遅れや分譲系ビルダーが需要動向を見ながら慎重に発注をしていたことがあげられる。多少の地域差は見られるが、多くのプレカット会社が年末までは忙しそうだ。

11月のプレカット稼働調査(全国平均表)

単位: % ()内は前年比

	10月(実績)	11月(受注)	12月(見込)
北海道	120.0(96.7)	132.0(120.0)	113.5(95.0)
東北	89.0(91.0)	88.0(111.0)	76.0(109.0)
関東	107.3(102.5)	103.9(108.0)	101.2(101.3)
中部	85.7(98.3)	90.7(95.0)	92.3(91.0)
関西	103.3(98.3)	105.0(100.0)	103.3(98.3)
中国	101.5(116.5)	96.5(91.5)	93.0(118.0)
四国	115.0(115.0)	119.0(110.5)	101.0(89.0)
九州	109.0(104.5)	105.5(105.5)	—
全国平均	103.9(102.9)	105.1(105.2)	97.2(100.2)

『トピックス』 2014 年度構造材の使用状況

2014 年度のハウスメーカーの構造用使用状況を見ると、集成材の採用は柱 76.1%（採用率、前年度比 0.5%減）、横架材 58.8%（同 8.2%減）、土台 33.1%（同 5.5%減）と柱は横ばい、横架材は減少する一方、土台は増加となった。

国産材志向が強い住宅会社の回答が多いこともあるが、杉を横架材として使用している会社が全体で 21%、年間 50 棟以下のクラスだと 33.0%にも達する。少し偏ったが杉を横架材で使用する地域ビルダーや工務店が着実に増加していることが見られる。

柱は安定していて樹種別ではWウッド集成材が増加しているが、今年、ポラテックが杉集成管柱を長期契約し、今後の使用が注目される。

土台は集成材採用率が低く、その中でも米ツガ注入土台の比率が低下し、米松が主流になってきている。採用率が最も高いのが桧ムク材だが、供給不足から乱高下を演じ、住宅会社の中には桧に対する不信感を抱いている会社も少なくない。

柱	単位% アンケート結果 *集成材の()中は内数									
樹種	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体	50棟以下	全体
集成材	25.0	71.5	32.6	70.1	33.2	78.9	27.0	76.6	30.2	76.1
(RW系)	16.0	16.5	8.4	15.2	5.0	15.7	4.6	18.8	7.1	22.3
(WW系)	8.0	27.2	6.1	31.0	6.3	31.1	13.1	25.4	16.5	37.7
杉	—	8.9	4.8	9.7	5.0	12.5	4.2	12.4	1.1	6.5
桧	51.0	13.1	20.4	8.7	18.8	6.7	13.6	6.4	26.4	9.3
杉	24.0	13.2	46.9	17.3	48.1	13.4	55.2	16.5	43.4	14.5
その他	—	2.2	0.1	4.1	—	1.0	4.2	0.5	—	0.1

横架材

集成材	25.5	69.3	36.8	67.1	30.7	66.7	30.2	67.0	19.3	58.8
(RW系)	19.7	39.4	9.5	39.5	15.0	41.0	13.0	35.1	3.1	38.0
(WW系)	—	12.1	6.0	7.1	—	7.9	—	9.5	10.5	11.0
(カラ松)	—	4.2	6.4	3.0	8.8	23.1	—	—	—	—
米松	35.5	18.5	26.7	22.8	48.1	23.1	32.8	20.0	36.6	21.0
杉	35.0	10.2	28.7	7.6	21.2	10.1	29.0	12.4	33.0	12.5
その他	4.0	2.0	7.8	2.5	0.0	—	8.0	0.6	11.1	7.7

土台

集成材	10.5	36.9	0.0	35.0	23.0	35.5	15.4	27.6	5.0	33.1
(米ヒバ)	—	8.3	—	5.8	—	30.8	—	3.0	—	3.6
桧	68.6	22.6	66.7	27.8	72.5	30.8	53.2	32.2	74.0	33.3
米ヒバ	9.8	16.7	31.1	11.3	4.3	7.1	22.1	12.9	—	5.7
米ツガ	—	8.1	—	12.9	—	15.6	—	13.0	1.0	3.8
その他	10.0	15.7	2.2	13.1	0.2	11.0	9.3	14.3	20.0	24.1

仕口

金物工法はプレカットの内数

プレカット	97.0	98.5	98.3	99.4	93.0	98.2	89.1	97.0	92.0	95.9
金物工法	—	31.0	43.1	33.3	12.1	39.0	8.2	30.9	19.0	34.6
手加工	3.0	2.8	1.7	0.6	7.0	1.8	10.9	3.0	8.0	4.1

平成27年度 経営セミナーのご案内

高知県木材協会では、高知県内企業の経営体質強化を図るため、関連業界の方々を対象として経営セミナーを開催することとなりました。

協会会員のみならず、県内の関連企業様にご案内いたします。
万障お繰り合わせのうえ、多数のご参加をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人高知県木材協会 会長 小川 康夫

日時:平成28年1月15日(金) 14:15～16:50

場所:高知市春野ピアステージ 小ホール (120人)



① 講演:宮崎県環境森林部 山村・木材振興課

課長補佐 日高 和孝 氏

テーマ:「韓国の森林・木材産業の現況と
対韓木材輸出について」

② 講演:池川木材工業有限会社

代表取締役 大原 栄博 氏

テーマ:「当社の海外事業及び対韓輸出取り組みについて」



③ 告知:高知県土木部港湾振興課よりお知らせ

「高知新港とコンテナ利用促進事業について」



主催:日本貿易振興機構(JETRO)
高知貿易情報センター

共催:一般社団法人高知県木材協会

後援:高知県

入場無料 (ただし事前申込みをおこなってください。)

ピアステージ住所:高知市春野町西分340

受講申し込み

会社名	
部署・役職	
参加者名	

FAX番号:

お申込みは右記FAXへ

088-884-1697

お問い合わせTEL:088-883-6721

担当 嶋崎

平成27年度 県産材需要拡大サポート事業

高知県最低賃金

時間額

693円

16円UP



平成27年10月18日から

働くには、最低賃金 チェックざんす。



年齢に関係なく、パートや学生アルバイトなどを含め、すべての労働者が対象となります。使用者も、労働者も、賃金が最低賃金以上になっているか、必ず確認しましょう。

必ずチェック! **最低賃金** 使用者も、労働者も。

- 厚生労働省ホームページアドレス <http://www.mhlw.go.jp/>
- 最低賃金に関する特設サイト <http://www.saitichingin.info/>
- パソコンでも最低賃金がチェックできます! [最低賃金制度](#) [検索](#)

WEBで
チェック!



最低賃金に関するお問い合わせは高知労働局または最寄りの労働基準監督署へ

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

80 赤塚不二夫先生80周年記念作品

おそ松さん

©赤塚不二夫/おそ松さん製作委員会

必ずチェック! 最低賃金 使用者も、労働者も。

最低賃金制度とは？

POINT

働くすべての人に、賃金の最低額
(最低賃金額)を保障する制度です。

最低賃金制度は、最低賃金法により国が最低賃金額を定め、正社員・契約社員・パート・アルバイト・嘱託といった雇用形態や呼称にかかわらず、**すべての労働者**が対象となる制度です。なお、最低賃金には、都道府県ごとの「地域別最低賃金」と、特定の産業が対象の「特定最低賃金」があります。

最低賃金額以上となっているかの チェック方法は？

POINT

チェックしたい賃金^(※1)を時間額にして、
最低賃金額(時間額)と比較します。^(※2)

(1) 時間給の場合

時間給 $\geq$ 最低賃金額(時間額)

(2) 日給の場合

日給 $\div$ 1日の平均所定労働時間(時間額に換算) $\geq$ 最低賃金額(時間額)

(3) 月給の場合

月給 $\div$ 1か月の平均所定労働時間(時間額に換算) $\geq$ 最低賃金額(時間額)

(4) 上記(1)、(2)、(3)が組み合わさっている場合

例えば、基本給が日給で、各手当(職務手当など)が月給の場合は、

- ① 基本給(日給) $\rightarrow$ (2)の計算で時間額を出す
- ② 各手当(月給) $\rightarrow$ (3)の計算で時間額を出す
- ③ ①と②を合計した額 $\geq$ 最低賃金額(時間額)

(※1) 最低賃金額との比較に当たって、次の賃金は算入しません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当など)
- ② 1か月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与など)
- ③ 所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金(時間外割増賃金など)
- ④ 所定労働日以外の日の労働に対して支払われる賃金(休日割増賃金など)
- ⑤ 午後10時から午前5時までの間の労働に対して支払われる賃金のうち、通常の労働時間の賃金の計算額を超える部分(深夜割増賃金など)
- ⑥ 精進手当、通勤手当および家族手当

(※2) 日額で定められている特定最低賃金の対象となる場合は、
日額に換算した額 $\geq$ 特定最低賃金額(日額)

あなたの賃金は？
スマホ、携帯で調べよう！



リサイクル適性(A)

この製品は、資源物の多くを
リサイクルしています。

(H27.9)



行事予定

- 12月8日（火） 理事・監事会、
高知県産業技術功労表彰者・全国木材産業振興大会表彰者 祝賀会
- 1月4日（月） 新年祝賀名刺交換会
- 13日（水） J A S 講習会（サンピア）
- 14日（木） //
- 15日（金） 経営セミナー（高知市春野ピアステージ）
- 2月23日（火） 第6回優良土佐材見本市【合同市】（西部木材センター）

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす



もくもくランドに森の博士登場、
森の検定試験みんな合格できる
かな？

一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知市小倉町2番8号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>